

「宇宙技術および科学の国際シンポジウム」でサイエンス部が研究成果を発表しました

国内外の宇宙分野の研究者約 1,000 名が一堂に会し、研究発表等を行う「宇宙技術および科学の国際シンポジウム（I S T S）」が 6 月 15 日から 7 日間にわたり福井市で開催されました。この一環として、6 月 15 日(土)に AOSSA にて「ジュニア I S T S」が、また、6 月 22 日(土)に教育総合研究所にて「I S T S 缶サットイベント」が開催され、サイエンス部が研究成果を発表しました。

「ジュニア I S T S」は高校生を対象としたイベントでしたが、高志高校 S S H 生徒による「初積雪の予測の研究」等、高校生による 8 つの発表とともに、中学サイエンス部も「模擬人工衛星の挙動制御と構造的工夫」について、研究成果を発表しました。発表後には座談会が行われ、J A X A 等の研究者の方々とともに、研究の進め方などについて意見交換しました。部員からは、「データの取り方など具体的なアドバイスを教えていただくことができた。」「県民ホールという大きな会場での発表は緊張したけれど、とてもいい経験になった。」などの感想がありました。

「I S T S 缶サットイベント」では、中学サイエンス部を代表して、3 年生の中川さん、西見さん、山本さん、市橋さん、2 年生の井部さん、西澤さん、志田さんの 7 名が外国人研究者に英語で研究成果を発表しました。質問に対しても、東京大学大学院教授の中須賀先生から助言をいただきながら、一生懸命、英語で答えていました。発表後には、外国人研究者とともに、福井県工業技術センターを訪問し、小型人工衛星の製造・試験設備を見学しました。ランチミーティングの後、缶サット（模擬人工衛星）を製作し、気球にて上空 50m から落下させる実験を楽しみました。部員からは、「英語での研究成果発表は、パワーポイントのスライド作りや原稿作り、発表練習のどれも大変だったけれど、充実した活動だった。」「缶サット製作では外国人研究者のアイデアにとっても刺激を受けた。」などの感想がありました。今後の活動につながる大変充実した体験となりました。



「ジュニア I S T S」研究成果発表の様子
(6 月 15 日、AOSSA)



J A X A 等の研究者との座談会
(6 月 15 日、AOSSA)



「I S T S 缶サットイベント」英語での研究成果発表の様子
(6月22日、県教育総合研究所)



移動中のバスの車内でも研究者と意見交換



小型人工衛星の製造・試験設備を見学
(6月22日、福井県工業技術センター)



缶サット（模擬人工衛星）の製作・実験の様子（6月22日、県教育総合研究所）